

2021年ポータブル撮影装置における撮影線量 DRLs2020比結果経年推移グラフ

DRLs2020よりポータブル撮影装置の線量についての項目が追加された。現時点では実際の患者への被ばく線量の記録はできていないため、各装置におけるプリセット撮影条件で実測を行い、計算で推定の患者皮膚表面線量を推定した。

2020年までは全ての装置で共通したプリセット条件（胸部：60kV/5mAs・腹部：72kV/16mAs）で撮影を行っていたが、昨年の測定結果より、装置間に出力の大きな乖離があることが判明したため2021/9/9に各装置の出力が均一になるようプリセット条件を設定した。

2020年までは（胸部：60kV/5mAs・腹部：72kV/16mAs）、2021年は下記の表の撮影条件で測定した。

測定結果より、2020年まで装置間で患者皮膚表面線量に大きなばらつきがあり、装置によってはDRLsを上回ってしまっているものもあったが、2021年の結果は、全ての装置でDRLsを下回り、さらに装置間でのばらつきがなくなっていることがわかる。これにより装置間で画質の統一かも図ることができた。

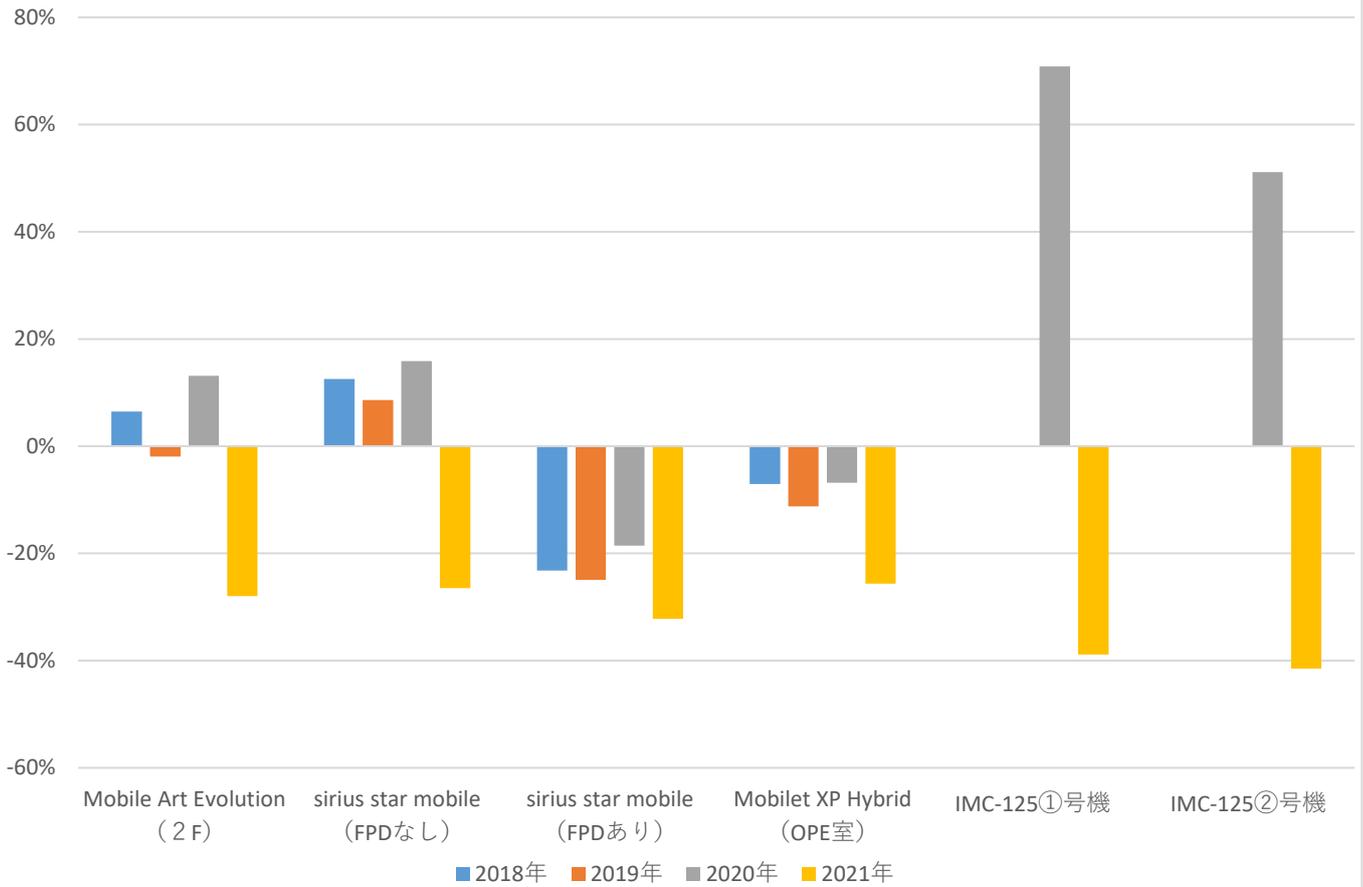
2021年胸部撮影条件

	撮影条件		
	管電圧	mAs	FFD
Mobile Art Evolution (2F)	60	5	120
sirius star mobile (FPDなし)	66	4	120
sirius star mobile (FPDあり)	66	5	120
Mobilet XP Hybrid (OPE室)	64	5	120
IMC-125①号機 (1F階段下)	72	2	120
IMC-125②号機 (感染病棟)	72	2	120

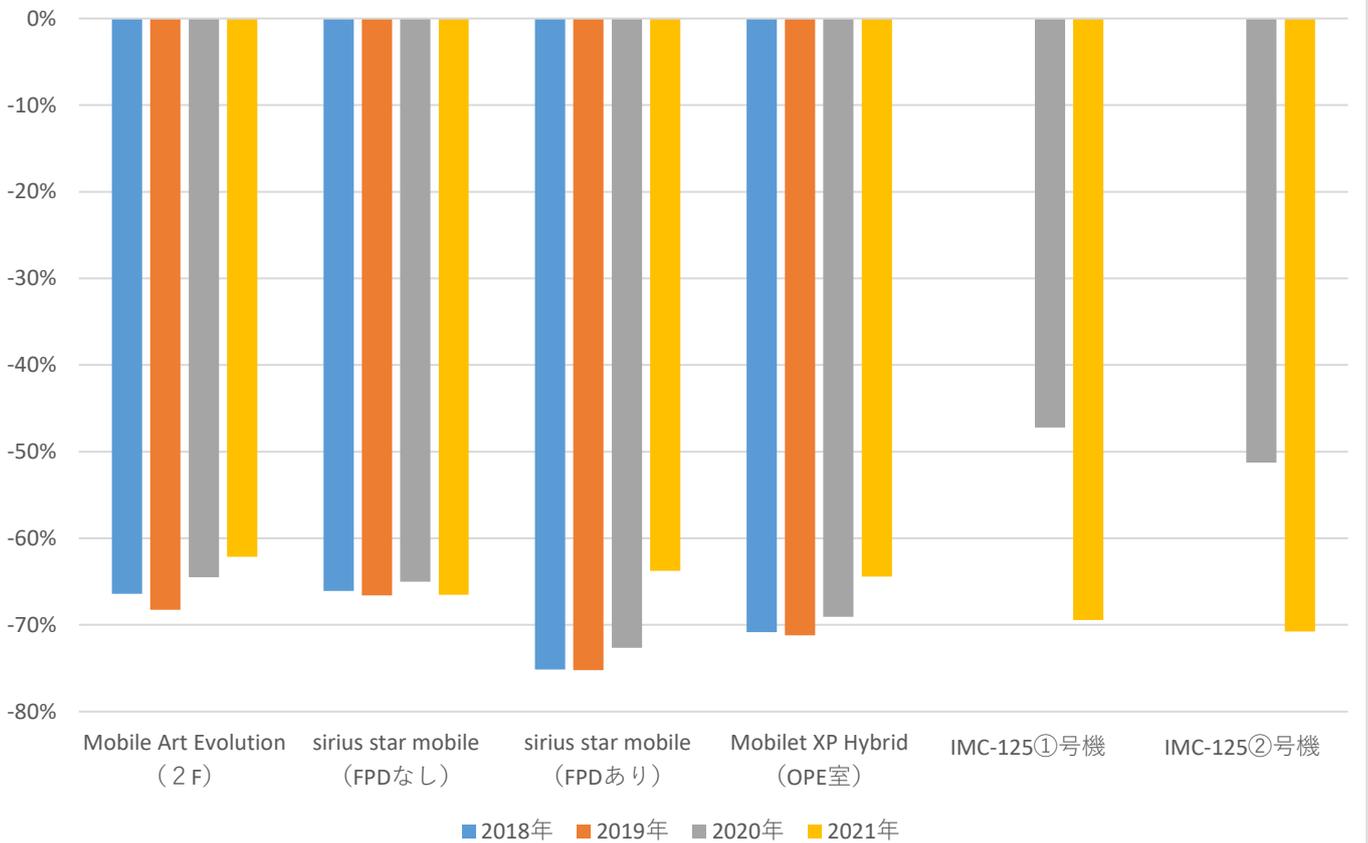
2021年腹部撮影条件

	撮影条件		
	管電圧	mAs	FFD
Mobile Art Evolution (2F)	74	16	120
sirius star mobile (FPDなし)	82	12	120
sirius star mobile (FPDあり)	82	16	120
Mobilet XP Hybrid (OPE室)	77	16	120
IMC-125①号機 (1F階段下)	80	8	120
IMC-125②号機 (感染病棟)	80	8	120

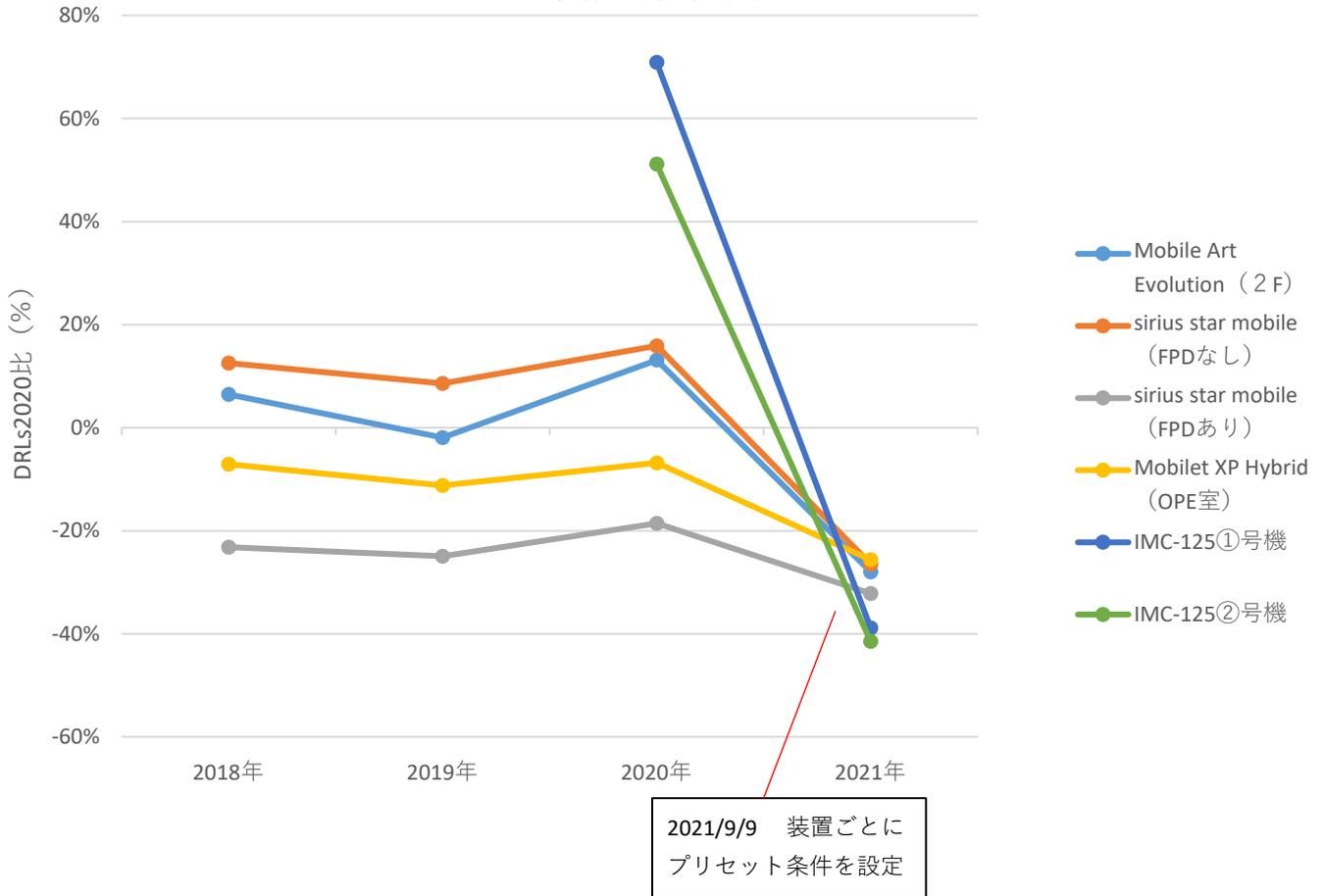
ポータブル装置 胸部撮影 線量測定値のDRL比各年比較



ポータブル装置 腹部撮影 線量測定値のDRL比各年比較



ポータブル装置 胸部撮影 DRL2020比



ポータブル装置 腹部撮影 DRL2020比

